

魅力あるまちの実現を目指して

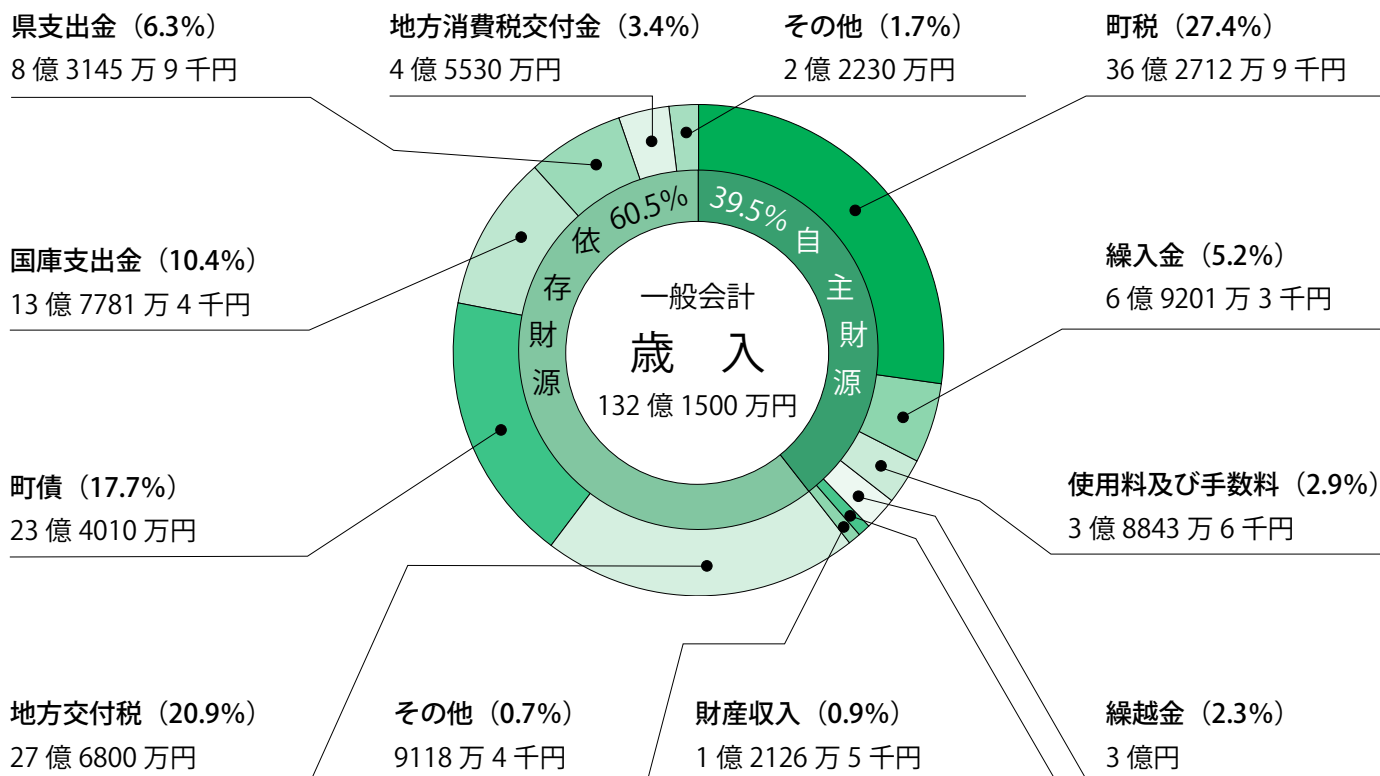
平成 27 年度予算が決定

町の平成 27 年度予算が、3 月に開かれた町議会第 1 回定例会で決まりました。

予算の編成に当たっては、町の発展と住民生活の向上を常に念頭に置き、住民の皆さんが安心・安全に暮らすことのできる魅力ある「まち」を目指し、第 3 次総合計画に掲げた目標に向けた取り組みを着実に推進することとし、必要性、緊急性を十分に精査したうえで編成しました。

今月号では、予算の全体像、主な事業内容を紹介します。

☎ 企画財政室財政課 ☎ 34-2072



※ () 内の数値は構成比。端数処理の関係で 100%にならない場合があります。

予算の全体像

予算総額は 231 億 8053 万 7 千円

町の予算は「一般会計」と「特別会計」、そして地方公営企業法に基づく「水道事業会計」から成り立っています。

町の各会計予算総額は、231 億 8053 万 7 千円で、前年度の当初予算に比べて 19 億 4842 万 5 千円、9.2% の増加となりました。

一般会計予算 132 億 1500 万円

特別会計予算 86 億 7935 万 2 千円

水道事業会計予算 12 億 8618 万 5 千円



農林水産業費 (1.8%)
2 億 3231 万 5 千円

議会費 (1.1%)
1 億 4573 万円

商工費 (0.4%)
4959 万 9 千円

予備費 (0.1%)
1500 万円

消防費 (4.0%)
5 億 2842 万 8 千円

民生費 (25.8%)
34 億 600 万 5 千円

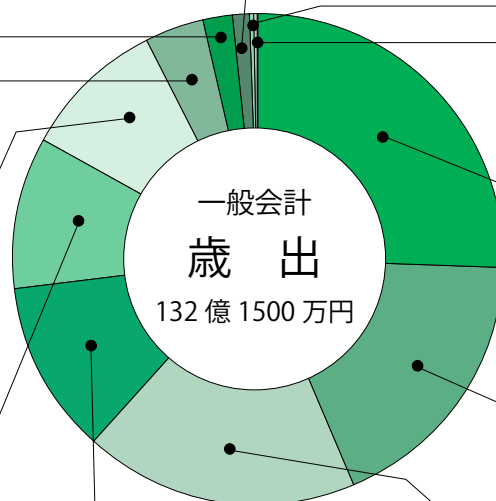
総務費 (9.5%)
12 億 5724 万 7 千円

公債費 (18.0%)
23 億 8149 万 8 千円

土木費 (9.9%)
13 億 806 万 1 千円

教育費 (11.5%)
15 億 1583 万 2 千円

衛生費 (18.0%)
23 億 7528 万 5 千円



※ () 内の数値は構成比。端数処理の関係で 100%にならない場合があります。

用語の解説

- **町税** 町に納められる税金で、町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、都市計画税があります。
- **地方交付税** 一定の行政サービスの水準を維持するために、財政力に応じて国から交付されるお金。
- **繰入金** 基金の取り崩しや他の会計から繰り入れたお金。
- **町債** 主に建設事業の財源として町が金融機関などから借り入れるお金。
- **議会費** 議会運営に関する経費。
- **総務費** 町の全般的な事務経費や、庁舎管理、徴税、戸籍、選挙、統計などの経費。
- **民生費** 社会福祉、高齢者、障がい者、児童福祉、人権啓発などの経費。
- **衛生費** 保健衛生、ごみ・し尿処理などの経費。
- **農林水産業費** 農業振興や生産基盤整備などの経費。
- **商工費** 商工業や観光振興などの経費。
- **土木費** 道路・河川整備、都市計画住宅などの経費。
- **消防費** 消防や防災などの経費。
- **教育費** 学校教育や生涯教育、文化・スポーツ振興などの経費。
- **公債費** 事業を行うために借り入れたお金を返済する経費。

一般会計

↑ 前年度比
13・7%増

一般会計の予算総額は13億2,500万円、前年度に比べると15億9,200万円、13・7%増加した予算規模になりました。

歳入

歳入では、町が自主的に収入を確保することのできる自主財源が前年度に比べて3億4,576万円増の52億2,002万7千円となり、国や県の意思決定に基づく依存財源は、前年度に比べて12億4,624万円の79億9,497万3千円となりました。その結果、歳入に占める自主財源の比率は、前年度に比べて2・4ポイント低下し39・5%となりました。

歳入で最も大きな割合を占める町税は、給与所得の上昇や大規模宅地造成によ

り個人住民税・固定資産税の増収などを見込み、前年度に比べて約2,380万円増となりました。また、広

域組合による新清掃工場建設に係る起債や過去に借り入れた町債の借り換えなどで、町債が前年度に比べて約6億8,900万円増加しました。さらに、新清掃工場やごみ中継施設の建設にあてる基金の取り崩しが増えたため、繰入金が前年度に比べて約1億1,500万円の増となりました。

歳出

歳出では、衛生費が前年度に比べて約8億3,600万円の増となっており、新清掃工場やごみ中継施設の建設事業費が増加したことが主な要因です。教育費は唐古・鍵遺跡史跡公園整備事業費の増、東小学校校舎地震補強事業、小中学校パソコン教室のパソコンの更新などに

より約2億8,900万円の増、土木費は道路新設改良事業費の増などにより約

特別会計

国民健康保険
特別会計

↑ 前年度比
6・8%増

療養給付費などの保険給付費は減少したものの、平成27年度から保険財政共同安定化の対象事業がすべての医療費に拡充されることに伴い共同事業拠出金が増加したため、前年度に比べて2億4,999万9千円、6・8%の増加となりました。

後期高齢者医療
特別会計

↑ 前年度比
1・1%増

後期高齢者医療広域連合

2億6,500万円の増となりました。

納付金の増などにより前年度に比べて4,35万1千円、1・1%の増加となりました。

介護保険
特別会計

↑ 前年度比
4・8%増

今年度から平成29年度までの3年間の第6期事業計画を開始します。この計画に基づき、引き続き介護サービスの充実を図ります。また、介護報酬の改定や介護サービス利用の増加により、保険料の見直しを行いました。今年度の予算は、前年度に比べて1億1,396万2千円、4・8%の増加となりました。



町民1人当たり
に使われるお金は
40万4,859円

平成27年度一般会計予算を、町民1人当たりの額に置き換えると、このような使い道になります。

衛生費
7万2,770円

民生費
10万4,347円

教育費
4万6,440円



公債費
7万2,960円

会計別予算額

(単位：千円、%)


会計		平成 27 年度	平成 26 年度	増減額	増減率
一般会計		13,215,000	11,623,000	1,592,000	13.7
特別 会計	国民健康保険	3,918,387	3,668,388	249,999	6.8
	住宅新築資金等貸付事業	1,513	1,530	△ 17	△ 1.1
	公共下水道事業	1,874,770	1,854,888	19,882	1.1
	後期高齢者医療	392,674	388,323	4,351	1.1
	介護保険	2,476,750	2,362,788	113,962	4.8
	磯城郡介護認定審査会共同設置	15,258	14,917	341	2.3
水道事業 会計	収益的収支	886,193	874,941	11,252	1.3
	資本的収支	399,992	443,337	△ 43,345	△ 9.8
各会計予算総額		23,180,537	21,232,112	1,948,425	9.2

今年度の予算は、収益的収支が前年度に比べて1125万2千円、1・3割の増加、資本的収支が前年度に比べて4334万5千円、9・8割の減少となりました。より一層、安全で安心で

 前年度比 9・8%減
資本的収支
 前年度比 1・3%増
収益的収支

水道事業会計

下水道は、住環境の改善や公衆衛生の向上、また、水質保全を図るうえで欠かせないのでできない施設であ

 前年度比 1・1%増
**公共下水道事業
特別会計**

り、計画的に整備を進めています。今年度は、公共下水道事業で7・27割、特定環境保全公共下水道事業で14・71割の整備を行います。今年度の予算は、前年度に比べて1988万2千円、1・1割の増加となりました。

きる水を供給できるように、昨年度から老朽化した大口径石綿セメント管の更新事業に取り組んでおり、今年度は工事を実施するための詳細設計を行います。また、今後見込まれる施設の更新・整備費用を踏まえたうえで、自己水と県水受水量の適正量を検討し、引き続き経費の抑制や維持管理経費の節減に努め、経営状況の透明性の向上と健全で効率的な事業運営を推進します。

予備費

460円

議会費

4465円

消防費

1万6189円

土木費

4万0074円

※数値は、各歳出項目を32,641人（平成27年3月1日の住民基本台帳人口）で割った額です。

商工費

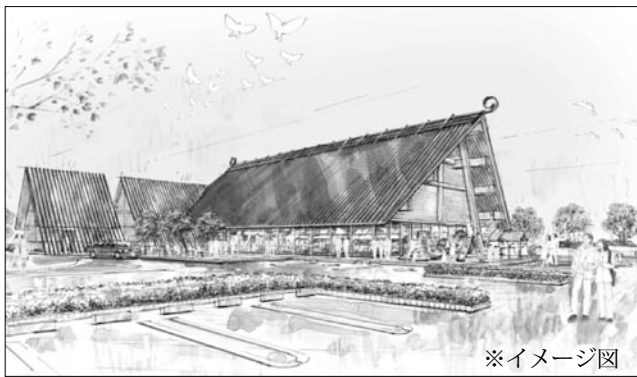
1520円

農林水産業費

7117円

総務費

3万8517円



※イメージ図

▲交流促進施設（道の駅）の基本設計などを行います

平成 27 年度の主な事業

6 つの基本施策ごとに見てみよう

平成 27 年度の主な事業を「自然と歴史・文化が育む新しい生活拠点たわらもと」をまちづくりの将来像とした、田原本町第 3 次総合計画の 6 つの基本施策分野ごとに紹介します。

共に幸せを感じられるまちづくり

臨時福祉給付金給付事業

5065万1千円

子育て世帯臨時特例給付金給付事業

1573万6千円

低所得者・子育て世帯への消費税率引き上げによる影響を緩和するため、昨年度に引き続いて国の施策である臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の給付事業を実施します。

放課後児童健全育成事業

5059万5千円

今年度から学童保育の入所対象となる学年を小学 6 年生までに拡大することから、入所児童の増加が見込まれる田原本小学校、南小

学校では余裕教室を活用して受け入れるとともに、引き続き保育サービスの充実を図っていきます。

人が活いきと輝くまなびのまちづくり

中学校給食の検討

50万2千円

中学校給食の実施に向けて、有識者や保護者の代表、学校関係者らで検討委員会を組織し、実施方式・時期などの調査・検討を開始します。

小・中学校校舎の耐震化事業

5097万9千円

幼稚園園舎の耐震診断事業

517万5千円

耐震化が必要な小・中学校施設について計画的に取り組んでいます。最終年度となる今年度は東小学校校舎の耐震工事を行います。

また、幼稚園園舎の耐震診断については 3 年計画で進めており、今年度実施する東幼稚園・北幼稚園で完了します。

都市基盤が充実したまちづくり

交流促進施設（道の駅）整備事業

1000万円

（仮称）唐古・鍵遺跡史跡公園の国道 24 号線を挟んだ北西部に交流促進施設（道の駅）の整備を進めています。今年 1 月には、重点「道の駅」候補として国から選定を受けました。今年度は、施設を建設するための基本設計などを行います。

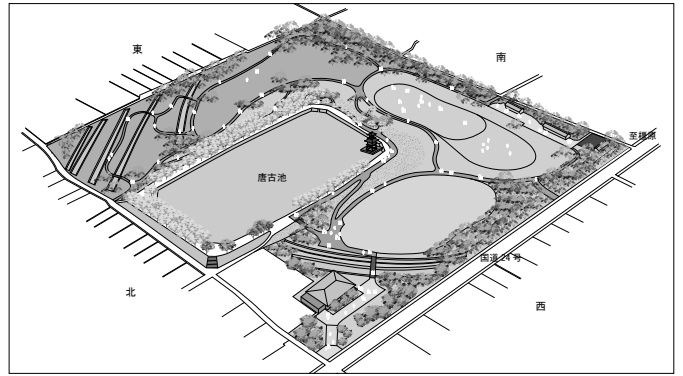
道路新設改良事業

3億4309万8千円

京奈和自動車道の一般部が 3 月末に開通したことを受けて、それに関連する周辺道路の整備を優先課題として進めるとともに、他の道路改良にも計画的に取り組んでいきます。



▲東小学校の耐震化を行い、小・中学校の耐震化が完了します



▲魅力ある史跡公園として整備が進められる唐古・鍵遺跡

快適に生活できるまちづくり

新たなごみ処理施設の整備に向けた取り組み

12億5723万4千円

新清掃工場は、平成29年度の稼働に向けてやまと広域環境衛生事務組合で整備を進めており、今年度から施設の本体工事が始まりま

す。また、持ち込みごみなどを新清掃工場に搬送するための中継施設については、昨年度から建設工事を開始し今年度に完成します。

唐古・鍵遺跡史跡公園整備事業

2億5728万7千円

本格的な整備工事が始まった昨年度は、唐古池東側の多重環濠ゾーン、弥生の林・草地ゾーンで造成や弥生時代の植栽などを行いました。今年度は南側の体

験学習ゾーンで、各種体験やさまざまなイベントの場となる広場の造成やトイレ、あずまやなどの建設工事を行います。

活力湧き出る産業振興のまちづくり

農業基盤対策事業

1億1524万9千円

水路や井堰の改修などを行い、引き続き良好な田圃維持と効率的な農業の推進を図ります。また、田んぼ

ダムや農地の集約化には境界を確定する必要があるため、国土調査法に基づく地籍調査を行います。

効率的な計画推進をめざしたまちづくり

社会保障・税番号制度導入経費

8691万8千円

国民生活を支える社会基盤として導入される社会保障制度・税番号制度について、システムの改修、通知

カードの配布や個人番号カードの発行などを行います。

地方創生関連事業

地方創生の取り組みに向けて、平成26年度の国の補正予算に「地域住民生活等緊急支援のための交付金」が盛り込まれました。

本町ではこの交付金を活用し、次の事業を行います。

- プレミアム付き商品券発行事業…6319万4千円（本紙折込チラシ参照）
- 地方人口ビジョン・地方版総合戦略策定事業…1000万円
- 地域振興事業…550万円
- 買い物支援サービス事業…70万円
- 2歳未満児保育支援事業…1000万円
- 産前・産後ヘルパー派遣事業…150万円
- 不妊治療費助成事業…450万円
- 担い手集積事業…150万円
- 子ども・乳幼児防災用品備蓄事業…100万円
- 幼稚園防災用品配置事業…120万円
- 唐古・鍵考古学ミュージアムリニューアル基本計画策定事業…360万円